MITSUBISHI

U868K47601B

三菱B級BL形(中形)避難口通路誘導灯 (蓄電池内蔵形)

形名 KSH2571A(片面灯) KSH2581A(両面灯)

取扱説明書

このたびは三菱誘導灯器具をお買上げいただきまして、ありがとうございました。

- ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
- お読みになった後大切に保存し、必要な時にお役立てください。

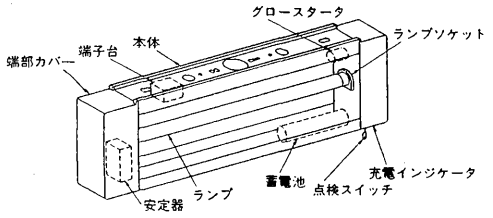
施工者さまへ

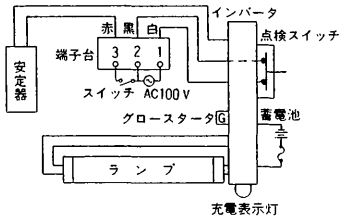
- 取付け工事の後、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

1.ご注意

- この器具の取付け・設置工事には、電気工事士の免許が必要です。
- 電源電圧および周波数を記名紙にてお確かめのうえ、指定どおりにご使用ください。
- 次のような場所では使用できません。
  - ×周囲温度が5～35℃の範囲外になる場所
  - ×湿気の多い場所や水のかかる場所
  - ×振動や衝撃を受ける場所
  - ×腐食性ガスや可燃性ガスの生じる場所
- 交換部品以外の器具構成部品を交換したり追加して、器具の改造をしないでください。
- ランプの交換および器具の清掃のときは、必ず電源を切ってから行なってください。
- 表示板は使用目的・使用場所に合ったものを使用してください。
- ランプはJIS規格品のFL20SS･EX-N/18を使用してください。

2.各部の名称・接続図

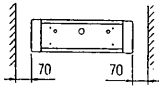




3.取付方法

(1)電源穴に付属のコードブッシュを必ずはめ込んでください。

(2)取付工事のため右図のように器具の両側に70㎜以上の余裕を設けてください。

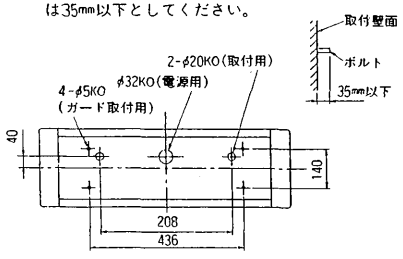


(3)器具を取付けてください。

〈壁付けの場合＝片面灯〉

- 下図の寸法を参考にして取付けてください。

(注) 表示面にボルトの影ができるためボルトの長さは35㎜以下としてください。

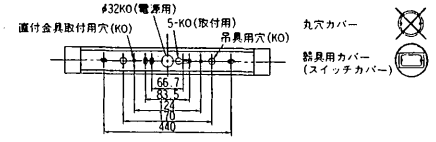


〈天井直付けの場合〉

- 直付金具を使用する場合はTK251(別売)を使用して取付けてください。
- 下図の寸法を参考にして取付けてください。

(注1) ボルト取付けの場合、強く締めすぎないでください。強く締めすぎると端部カバーの変形、開閉不能の原因となりメンテナンスが出来なくなります。

(注2) この器具をボックスカバーに直付される場合は、器具用カバーをご使用ください。丸穴カバーはご使用できません。



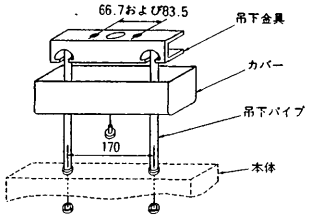
E766Z794H51

〈天井吊下げの場合〉

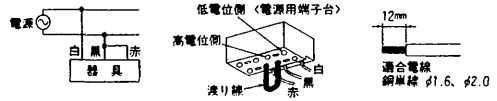
- 吊具C216P(別売)を使用して取付けてください。

(4)電源線を端子台に接続してください。

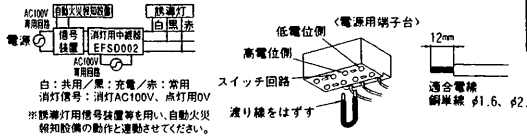
- 高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて強く奥まで差し込んでください。
- 電源線は専用回路にしてください。 送り容量 15A以下



〈単相2線2線式・常時消灯しない場合〉



〈単相2線3線式・常時消灯する場合〉



⚠警告

ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで覆い保護を施してください。(感電・火災の原因)

備考 EMケーブル(EM-EEF)＝600Vポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル平形

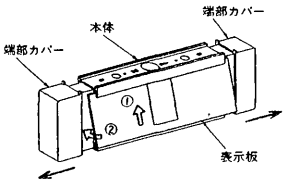
※常時消灯する場合は、所轄の消防署の了解を得る必要があります。

※誘導灯消灯システム使用の場合は、信号装置取扱説明書を参照してください。

(5)ランプを装着します。この時、ランプがランプソケットに確実に収まっていることを確認してください。

(6)通電後、蓄電池とインバータのコネクタを接続します。

(7)右図の様に端部カバーを左右にスライドさせて表示板をはめ込み、端部カバーを元に戻します。この時、端部カバーを強く引きすぎない様にしてください。



4.点灯検査

次の点灯状態を確認して万一点灯しない場合、下記項目をチェックしてください。

●通常点灯しない場合

- ランプやグロースタータは各ソケットに固定されていますか。
- 誤配線をしていませんか。
- 電源電圧は定格どおりですか。

●非常点灯しない場合

- 蓄電池とインバータのコネクタは、はずれていませんか。
- 蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
- 蓄電池は24時間以上充電してありますか。

●充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合

- 電源は通電されていますか。
- 蓄電池とインバータのコネクタは、はずれていませんか。
- 蓄電池のヒューズは溶断していませんか。

5.保守とお手入れのしかた

- ランプ交換は、3.取付方法の(7)を参照してください。
- 誘導灯の性能を維持するため6か月に一回、点灯検査を行なってください。
  - 点検スイッチの引きひもを引くかまたは分電盤からの回路を断つと非常時(停電時)の点灯が確認できます。
  - 24時間以上充電して20分間有効に非常点灯しないときは蓄電池を指定の交換用蓄電池と交換してください。
  - 蓄電池の交換は、必ず当社指定の純正部品を使用してください。
- 消防法では誘導灯の点検を定期的に行ない、その結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。
- 本体や表示板の清掃はぬるま湯、または水を浸した布で行なってください。
  ガソリン、ベンジンおよびシンナーなどの薬品類で拭くことは避けてください。

6.交換部品

ランプ	FL20SS･EX-N/18
グロースタータ	FG-1E
蓄電池	3N23HA

7.定格

摘要	常時	非常時
使用ランプ	FL20SS･EX-N/18×1	FL20SS･EX-N/18×1
定格電圧	AC100V	密閉形 Ni-Cd蓄電池 3.6V 2300mA
入力電流	0.38A	
入力電力	24.9W	
定格周波数	50/60Hz	
充電方式	トリクル充電	

裏面も必ずお読みください

連絡先 三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社 TEL(0467)41-2728(施設照明営業課)
TEL(0467)41-2773(品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

三菱誘導灯器具

お客さまへ

●ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

施工者さまへ

●施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
●取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

お客さまへ

このたびは三菱誘導灯器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

保管用

安全上のご注意

必ずお守りください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、
⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

禁止	分解禁止	指示を守る
接触禁止	水場での使用禁止	アース線接続

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性のあるもの。

器具の改造や指定部品以外の交換は禁止。 火災・感電・落下の原因	器具やランプを布や紙などで覆わない。可燃物をかぶせて使用すると火災の原因	ランプ交換・お手入れのときは蓄電池のコネクタをはずし、電源を切る。やけど・感電の原因
煙が出たり変な臭いがしたら、すぐに電源スイッチを切る。 火災・感電の原因	器具、ランプを水洗いしない。 火災・感電の原因	器具の隙間や放熱穴に金属類を差し込まない。 火災・感電の原因
電池はショート・分解・加熱変形させない。また、火中に入れない。 やけどや衣類損傷の原因		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

お客様自身の電気工事は禁止。電気工事士などの資格が必要です。火災・感電の原因	ランプに塗料などを塗らない。ランプが過熱、破損してけがの原因	器具の直下及び付近にストーブなどの高温になるものを置かない。過熱して火災の原因
ランプはソケットに確実に取付ける。 不完全な取付けは落下の原因	点灯中および消灯直後のランプや器具には触らない。 高温のためやけどの原因	ランプは落としたり物をぶつけたり無理な力を加えない。 ランプが破損してけがの原因
明るく安全にご使用頂くために半年に1回の保守・点検を行う。	スイッチの引きひもを急激に強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。又、ランプにからませない。 破損して落下の原因	

お願い

●ランプやグロースタータは確実に取付ける。ゆるんでいると点灯しないことがあります。
●プラスチック部分には次のものを使用しない。
　・みがき粉やたわし　・殺虫剤　・シンナーなど揮発性のもの　・熱湯
●ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、柔らかい布にぬるま湯か水をつけて、よく絞って拭き取る。
●蓄電池は24時間以上充電する。24時間以上充電して、有効点灯持続時間が20分間以下となった場合は、新しい電池と交換してください。
●ランプが黒化した場合、光束が減少し必要な明るさが確保できない場合があるのでランプを交換してください。
●点灯装置の動作不良が生じた場合は、新しい器具と交換する。
●表示板は使用目的・使用場所に合ったものを使用してください。
●破損をしたり、異常を感じた場合は直ちに電源を切り、工事店、裏面連絡先にご相談ください。

電池の回収

この製品には、ニカド電池を使用しております。
ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

Ni-Cd

施工者さまへ

安全上のご注意

必ずお守りください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、
⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性のあるもの。

引火する危険のある雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、可燃性粉塵)で使用しない。 火災の原因	電源の接続は指定太さの電源線を、指定長さに被覆を剥がし1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因	器具の取付けは取扱説明書に従い行う。 不確実な取付けは、器具落下・火災・感電の原因
器具の取付けは重量に耐えるところに取付ける。 落下の原因	電源の接続は取扱説明書に従い行う。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因	送り配線は照明器具専用とし、負荷容量を確認して接続する。 負荷容量を越えると端子台が過熱・損傷し火災の原因
電源線は器具の外郭に直接触れないようにする。 過熱して火災の原因	器具の取付けの際は、電源線を挟まない。絶縁不良により感電・火災の原因	施工は電気設備の技術基準・内線規定に従い行う。
取付方向指示のある器具は本体表示並びに取扱説明書に従い行う。指定以外の取付けは、器具落下・感電・火災の原因	アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。 アースが不完全な場合は感電・火災の原因	

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

高温(35℃以上)、粉塵、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所での使用禁止。 落下・感電の原因	錆の出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使用しない。 劣化による落下の原因	屋外・屋側で風雨にさらされる場所で使用しない。 水気・湿気の浸入による感電の原因
風呂場など水や湿気の多い場所で使用しない。 火災・感電の原因	表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災・感電の原因	使用地域の周波数に合った器具を使用する。 火災の原因
器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート取付面には取付けない。絶縁不良や錆により感電・落下の原因	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。絶縁不良により感電・火災の原因	蓄電池を通電せずに電池コネクタを接続したままで放置しない。 蓄電池の寿命低下漏液の原因

お願い

●使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、電池のコネクタを外す。
●直射日光や空調器等の排気口・温風吹出口付近の取付けは避ける。電池の寿命が低下することがあります。
●器具は周囲温度が5～35℃の範囲で使用する。
●電源線接続の速結端子の電源線を外す時は、幅6mmのマイナスドライバーを外し穴にまっすぐ差し込む。
●通電後、電池のコネクタを接続する。通電しないで電池のコネクタを接続し放置すると、電池が過放電します。
●ランプやグロースタータは確実に取付ける。ゆるんでいると点灯しないことがあります。

裏面も必ずお読みください

連絡先　三菱電機株式会社　〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社　TEL(0467)41-2728(施設照明営業課)
TEL(0467)41-2773(品質保証部サービス課)